

□ 要請番号 (JL46918B03)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モロッコ	I102 障害児・者支援		個別	新規	2年	・ 2019/1 ・ 2019/2 ・ 2019/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

外務協力省

2) 配属機関名 (日本語)

児童保護モロッコ連盟
NGO

3) 任地 (ラバト県ラバト市) JICA事務所の所在地 (ラバト)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車 で 約 0.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

1957年創設モロッコ発の非政府・非営利組織。モロッコ王室が後援し、初代連盟長は国王の叔母、現在の連盟長は国王の従妹にあたる。孤児、家庭内で問題があり家庭で育てられない子どもの保護・養育や養子縁組斡旋、また児童養育困難者への支援(保育園等)を行っている。具体的には、全国の養育施設8ヶ所、保育園77ヶ所などを運営する。約600名(うち90名が障害がある)の養育、2000名の保育園受入れを実施(2014年データ)。本要請と同時に理学療法士隊員1名、障害者支援隊員1名を募集中であり、連携することが期待されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

連盟は養育の質の向上、職員的能力向上およびそれによる業務効率化を目指している。職員の業務改善、業務枠を広げることに貢献し、職員らがより効率的に働けるよう、知識共有を希望して要請があった。

職場となるラメラリアムセンターは約130名の子ども(原則として0~18歳)を養育し、食事・住居の提供、学齢期の児童は近所の学校に通学させている。障害がある者は63名(4歳~41歳/大人になっても他の受入れ先がなく当施設に滞在する)で、そのうち身体障害、肢体不自由な者が28名いる(2018年5月現在)。重複障害がある者もいる。日中は医療スタッフが常駐。言語障害改善士、理学療法士2名が勤務する。物資や人員にはとても恵まれた環境である。KOICAボランティア(理学療法士)2名の受入れ実績がある(2016年頃)。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

連盟の一施設である首都のラメラリアムセンターにて、発達障害や精神障害を持つ児童に対し、適した教育を提供し、より快適に過ごせることを目的に以下の活動を行う。

- ・同僚に、日本での方法や考え方の紹介をする。
- ・同僚に、障害の種類の特徴や、それぞれの障害に応じた接し方について紹介する。
- ・同僚に障害がある児童に適した教育方法を紹介し、やって見せ、なぜその方法が良いのかを説明する。
- ・一職員として同僚とともに児童の教育に関わる。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

机、イス、図工用具

4) 配属先同僚及び活動対象者

教員(女性 3名)
センター校長(40代、女性)
生活介助員(約20名)、

理学療法士2名(50代女性1名、他1名)
医師(一般医4名、小児科医1名)、看護師7名
言語聴覚士(1名)

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
フランス語	アラビア語	英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：（特別支援学級教諭、社会福祉士、保育士相当） [学歴]：（ ） 備考：
[性別]：（ ） 備考： [経験]：（実務経験）5年以上 備考：同僚の実務経験が長いため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (地中海性気候) 気温: (5~45℃位) [電気]: (安定)
[通信]: (インターネット可) [水道]: (安定)

【特記事項】

施設・物資やスタッフ人数には大変恵まれた環境。一職員として働くとともに、同僚や生活介助員とコミュニケーションを取り、現地の状況を踏まえた上で、日本の方法やその必要性を説明する。